



2018年5月4日

2018年5月25日

同じ場所で撮影したものです。この時期は3週間でビニールを突き破りそうなほど伸びます。当園は棚仕立てなので、このあと枝を横に倒します。

## 西日本豪雨被害について

2018年6.7月に西日本を中心に大雨が降り、岡山県でも真備町などで深刻な水害が発生しました。

新見市内でも浸水や土砂崩れなどの被害、またそれに伴う断水、通行止めなどが発生しましたが、幸い当園および自宅への大きな被害はありませんでした。

被害の様子がニュースなどで取り上げられて以降、多くの方より心配のお声を頂きました。お心遣いありがとうございます。改めてこの場を借りてお礼申し上げます。

## ～2018年の防除(農薬散布)暦～ (太字は有機 JAS 認定農薬)

- 4/7 萌芽前 ベンレート500倍(黒とう病) **石灰硫黄合剤10倍(殺虫)**
- 5/2 萌芽直後 ジマンダイセン1000倍(べと病) スミチオン1000倍(殺虫)
- 5/22 開花前 ジマンダイセン1000倍(べと病) ポリオキシシン5000倍(灰かび病)  
**コロマイト(殺ダニ)2000倍**
- 6/13 結実後 レーバス2000倍(べと病) **ボトキラー1000倍(灰カビ病)**  
**エスマルク2000倍(殺虫)**
- 7/1 果実肥大期 **ボトキラー1000倍(灰カビ病)** アグロスリン2000倍(殺虫)
- 7/9 果実肥大期 **ICボルドー50倍(べと病)** アグロスリン2000倍(殺虫)

前年(2017年)に害虫であるブドウトリバが大量発生したので、今回はこれまでより殺虫剤を1回多く使いました。本当は7月末に殺菌剤をもう1度撒く予定でしたが、散布する機械が壊れてしまったため中止にしました。結果、これまでで最も散布量の少ない年になりました。

おかげさまで、白ワイン(blanc2017)は完売しました。たくさんのご注文ありがとうございます。スパークリングワイン(sparkle2017)は在庫がありますので、引き続きご注文お待ちしております。

3月29日～31日に岡山駅前(コンベンションセンター)で行われるイベント、「**ワインに恋してときめいて2019**」に出店します。全国から多くのワイナリーが参加し、料理やコンサート、トークショーなどもある楽しそうな催しです。是非、ご参加お待ちしております。(詳細はイベントのホームページを見てみてください)

## 2018年の状況

- 1月 昨年と比べて寒い日が多い。雪の少ない日を見計らって早めに剪定を開始。
- 2月 相変わらず気温の低い日が続く。
- 3月 気温が上がって、木も動き出す。3月初旬には揚水が始まる。月末には岡山駅前のイベントに出店。たくさんの方に飲みに来ていただき感謝。
- 4月 ビニール張り⇒草刈り⇒芽かき  
バタバタしているうちに1か月が過ぎてしまった。
- 5月 4月末の萌芽後は一気に枝が伸びていき畑の風景が一変します。月末には開花が少しずつ始まる。
- 6月 家主さんにももらったスーパーカブで畑に通う日々。畑では副梢を切ったり、誘引したり、摘粒したりと大慌て。
- 7月 大雨で数日は畑に行けなかったが、ぶどう畑には影響なく一安心。
- 8月 雨が降らず暑い日が続く、一気にぶどうが甘くなる。猿を見つけて、「まう」が2回暴走。今年は猿が5匹家族でやってくる。困った・・・
- 9月 初旬の大雨でぶどうの実にひび割れが発生。さらに葉の裏面にはさび病が大量発生。収穫までは傷んだ実を切り落とす日々。収穫は23日。県内だけでなく関西や東京方面よりボランティアに来て頂く。例年通り当日にヒトミワイナリーまでトラックで搬送。
- 10月 2017年ワインの販売開始。今回はラベルも新調。あり難いことに案内早々たくさん注文頂く。
- 11月 前月に引き続き発送作業を続ける。
- 12月 雪が余り降らないので、畑作業が順調に進む。

8月までは順調だったのですが、9月に入った途端大雨が続きました。その結果、実が水分を多く吸って割れてしまったり、病害が発生したりと収穫前はてんやわんやでした。それでも昨年並みの1.5tを収穫。昨年に比べて選果作業などが多く、難しい収穫を一生懸命してくれたボランティアの方々に感謝です。2019年もエルニーニョ現象の影響で天候不順が続く様なので、昨年以上に気を付けなければ。



イノシマウ